

地域再生計画（地方創生汚水処理施設整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	愛知県	事業実施主体	江南市	地域再生計画名	みんなでつくる持続可能で快適な生活環境づくり計画
計画期間	平成27年度～平成31年度	評価責任者	企画部長 片野富男		

	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	中間目標値の実現状況に関する評価	
			基準年度	年度	中間実績	基準年度					
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	汚水処理人口普及率	66.0%	H26	72.4%	H29	75.6%	78.8%	H31	○	地方創生汚水処理施設整備推進交付金の活用により、汚水処理施設の効率的な整備ができたため、目標値を達成できた。引き続き、最終目標値を達成するよう整備を推進する。※汚水処理人口普及率：（下水道処理区域人口＋合併処理浄化槽人口（下水道処理区域内の人口を除く。））／行政人口
	指標 2	浄化槽の雨水貯留施設転用基数及び貯留量	388基 760㎡	H26	478基 913㎡	H29	508基 1,176㎡	538基 1,015㎡	H31	○	地方創生汚水処理施設整備推進交付金の活用により、効率的な下水道の整備が行われたため、下水道接続人口が増加し、目標を達成できた。引き続き、最終目標値を達成するよう整備を推進する。
	指標 3	青木川のBOD 般若用排水のBOD	7.8mg/L 15.5mg/L	H26	7.3mg/L 14.6mg/L	H29	8.0mg/L 11.1mg/L	6.9mg/L 13.7mg/L	H31	×	青木川のBODは達成できなかったが、般若用排水のBODは達成できた。引き続き、最終目標値を達成するよう整備を推進する。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1	汚水処理人口（市内全域）	68,002人	H26	-	H29	76,119人	81,183人	H31		地方創生汚水処理施設整備推進交付金の活用により、効率的な下水道の整備が行われ、汚水処理人口の増加に伴い、汚水処理人口普及率も増加している。引き続き、最終目標値を達成するよう整備を推進する。
	指標 2										
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価					
			計画	中間年度（H29）	最終実績見込み						
特別措置を適用して行う事業	公共下水道事業（整備延長）		30,499m (4,769m)	11,432m (1,359m)	30,499m (4,769m)	地方創生汚水処理施設整備推進交付金の活用により、施工区域の下水道整備が計画通り行われたため、指標の向上に寄与した。引き続き、最終目標値を達成するよう整備を推進する。					
	個人設置型浄化槽整備事業（整備基数）		125基	61基	125基	個人設置型浄化槽整備事業として、汲取便槽や単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に対して補助金を交付し、平成27年度～平成29年度の3年間に計61基合併処理浄化槽が設置され、公共用水域の水質汚濁防止に寄与した。平成30年度からは処理対象人員10人以下の高度処理型の水質基準要件に加え、環境配慮型の要件を追加し、補助限度額を増額した。今後も広報やチラシ配布などによる普及啓発を推進していく。					
その他の事業	第二次江南市環境基本計画の推進		第二次江南市環境基本計画に基づき、市民、事業者、市が協働で環境に関する取組を進める			第二次江南市環境基本計画の策定時から社会情勢が変化しており、各目標及び指標などをより社会情勢に適合したものにするため平成28年度の中間年度に計画を改訂した。計画改訂にあわせて、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）と生物多様性戦略計画を盛り込んだ。今後は、環境目標の達成状況や市民、事業者、市の取り組みの進捗状況を環境審議会に毎年報告し、適宜助言を受けて、PDCAサイクルを基本とした計画の進行管理を行う。					
	国営木曾三川公園フラワーパーク江南（江南花卉園芸公園）の整備促進		フラワーパーク江南第Ⅱ期計画エリアの整備を促進する			園路や管理施設整備など、平成33年度の開園を目指し、整備に取り組んでいる。引き続き、計画的な整備を促進することにより、地域の活力・魅力づくりや防災・減災機能の強化といったストック効果の向上を目指す。					
	宮田導水路上部整備事業の促進と遊歩道・サイクリングロードの利活用		暗きよ化された宮田導水路の上部空間を利用し、遊歩道・サイクリングロードとともに地域社会の活性化を図る			県営水環境整備事業において整備を進めている宮田導水路整備事業の平成29年度までの進捗状況は、南野橋から宮西橋までの間と河沼橋から四ツ谷橋までの区間において、函体上部及び左岸側の整備が完了している。進捗状況としては、全体工事延長の約20%が完了しており、引き続き、事業が早期に完了するように事業主体である県と協議を実施し、事業を促進する。					
	水循環系の再生		雨水貯留施設等の設置推進と「緑のカーテン」チャレンジを実施する			雨水貯留施設等の設置推進については、平成27年度から29年度の3年間に281件の補助申請実績があり、各家庭からの雨水流出を抑制し、河川や水路の負担軽減に寄与した。「緑のカーテン」チャレンジについては、地球温暖化防止対策の推進を目的に広報などで「緑のカーテンづくり」にチャレンジしていただく方を募集している。平成29年度は、あさがお・いがうり・ミニトマトの種、プランター、培養土、堆肥のチャレンジセットを170セット配布し、チャレンジには175件の応募があった。今後も、普及啓発を継続する。					
	地域の環境保全への取組		川と海のクリーン大作戦、こうなん美化ボランティア及び家族のシンボルツリーにより地域の環境づくりを推進する			川と海のクリーン大作戦については、年1回の河川清掃活動を実施しており、平成28年度には約1,489人のボランティアが参加した。（平成29年度は雨天中止）市民の環境保全に関わる意識の高まりが感じられる。こうなん美化ボランティアの実施状況は、（H26）27団体530人、（H27）27団体513人、（H28）28団体542人、（H29）34団体572人となっている。団体数、活動参加者数共に増加傾向にあり、今後も広報こうなん、市ホームページで、こうなん美化ボランティアの紹介を行い、登録者数の増員を図っていく。家族のシンボルツリーについては毎年500本以上の配付実績があり、今後も積極的なPRを行うことにより身近な緑の創出に努める。					
計画外で独自に実施した事業											
④評価方法	市民・市職員からなる「まちづくり会議」及び所管課の連絡会議において、計画全体の達成状況の評価、改善すべき事項の検討等を行う。										
⑤中間評価の公表方法	江南市秘書政策課のホームページに掲載										
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、地方創生汚水処理施設整備推進交付金の活用により、下水道の整備や合併処理浄化槽の普及など、汚水処理施設の整備を推進し、河川の水質向上を図っている。交付金の活用により、最終目標値の達成に向けて概ね計画どおりの進捗となっている。また、市民・市職員からなる「まちづくり会議」においても、平成29年度の実績に対する意見等は無く、市民の公共下水道事業及び個人型浄化槽整備事業に対する理解が深まっている。										
⑦今後の方針等	個人設置型浄化槽の整備については市民の申請によるものであり、最終目標値を達成するよう市民に対して普及啓発を推進する。公共下水道事業については、整備量が最終目標値を達成するよう、引き続き、事業を推進する。										